

備北ナカポツ だより

BIHOKU NAKAPOTSU NEWS
No. 33

令和3年
7月1日発行

●発行所／三次市十日市東三丁目14-1 三次市福祉保健センター1F TEL.(0824)63-1896 FAX.(0824)63-1897
一般社団法人備北地域生活支援協会 備北障害者就業・生活支援センター
http://care-net.biz/34/bihoku-c/ E-mail/info@bihokucenter.com

職場拝見



今回は庄原市にある長岡鉄工建設(株)を訪問し、志和橋社長と社員の宇山さんにお話を伺いました。



志和橋社長

長岡鉄工建設(株)の
会社概要についてお話をください。

昭和40年2月に創業して今期で57期になります。事業内容は総合建設業、鋼構造物工事業で設計施工をしています。また、大型H鋼リースやアパート経営・葬儀場の経営など多岐にわたっています。

障害者雇用の状況について
教えてください。

現在の障害者雇用は1名です。初めての障害者雇用になります。

障害者雇用をする
きっかけは何でしたか？

庄原特別支援学校から実習の依頼があったことがきっかけとなりました。

ました。地元の学生が地元の企業に興味を持つことは意義があります。当社が何をしている会社かを理解してもらいたいと思い実習を引き受けました。年間2回の実習を通じて本人が「ものづくり」に興味を持ってくれたこと、礼儀正しい態度や挨拶、仕事に対して真面目に丁寧に取り組む姿勢を見て採用したいと考えるようになりました。

入社前にどのような
準備をされましたか？

初めての障害者雇用となるので、正直不安もありました。入社前に特別支援学校の先生とご家族から生活習慣や良い点、気に掛ける点をお聞きして、それを社内でも共有しました。

入社後に何か配慮されている
ことはありますか？

特別な配慮は必要ありません。毎朝ラジオ体操をするときに彼を指導する人が体調を確認します。体調を気に掛けることをきっかけにして常にコミュニケーションを取るよう心がけています。

戦力になっていきますか？

入社して1年以上になりますが、無遅刻無欠勤が続いています。本人の努力と責任感があるからできることで、その姿勢が一番の戦力だと思います。

仕事面では、玉掛け作業の資格や作業主任者の資格も取得しました。

今は溶接などの資格を取るよう
に勉強中で、会社もバックアップして
いきます。

今後も障害者の雇用を
お考えですか？

今後も受け入れを考えています。障害者を雇用することで言葉遣いを気にかたり、他の人を認め合うような意識が高まり、社内の雰囲気
が良くなったと感じています。

実習をしていただいで適性を判断して、ミスマッチが無いようにしたいと思っています。

ナカポツセンターのこれからの
関わりについて一言。

本人が会社に言いにくいことを聞き取って伝えて欲しい。障害者雇用を始めてまだ時間が経っていないので、いろいろな話を聞いて働きやすい職場にしたいと考えています。

(次頁へつづく)



会社全景

私たち 羽ばたいています!



宇山知弥さん

宇山さんは
入社して1年が経過しました。

入社された経緯をお聞かせください。

学生時代に実習を2回経験して「ものづくり」に興味を持ちました。仕事が面白いと感じたのでやってみようと思いました。

仕事の時間や内容を
教えてください。

今は牛欄を作る仕事をしていきます。2人一組で溶接をします。溶接にはだいぶ慣れました。丁寧な仕事をするように心がけています。

学生時代と比べて仕事をする
ことで1番違う点は何ですか？

仕事は厳しいと感じています。期間内に仕事を完了するために準備や段取りが大切だと感じています。

仕事をするうえで気を付けて
いることはありますか？

体調管理や気持ちコントロールするために規則正しい生活を心がけています。

毎朝6時に起床して朝食を摂り、7時過ぎに家を出る。自分のルーティンを作ることで安定して働いています。

また、これから夏になるので熱中症対策のために水分補給を忘れないようにしています。

仕事を始めて良かった
ところはありますか？

月々の給料が楽しみです。将来のためにしっかりと貯金するつもりです。

休日や余暇にやっておられる
ことはありますか？

家でゆっくりしています。テレビでアニメを見たりYouTubeを見たりしてリラックしています。

仕事をするうえで、
これからの目標はありますか？

先輩社員のように溶接が上手になりたいと思います。上手くなっていろいろな仕事を任せてもらえるようになることが目標です。そのため資格を取るよう勉強しています。

資格をとっていろいろな仕事に
チャレンジしたいと思っています。



作業中の宇山さん

事業所紹介

安芸高田市吉田町にある清風会サンライフを訪問し、渡所長と支援員の南郷さん、そして三次市内からサンライフに勤務されている本田さんからお話を伺いました。



渡所長(左)と南郷支援員(右)

社会福祉法人清風会について
教えてください。

清風会の会長である澤崎卓児が昭和47年に身体障害者のために福祉工場(現在の清風会吉田工場)を吉田町に設立したのが始まりです。

当時の福祉工場には独身寮、世帯寮も整備し、夫婦で生活できる場も

ありました。

その後、昭和63年には知的障害者を対象とした「清風会みつや工場」をまた、平成8年には精神障害者を対象とした「清風会サンライフ」を整備しました。

現在では、県内で就労継続支援A型事業所6か所、B型事業所7か所、グループホーム14施設、寮5施設を運営しています。

サンライフについて
詳しく教えてください。

清風会では3つ目となる障害者の福祉就労の施設として平成8年に事業をスタートしました。

その当時、精神障害者の就労施設はほとんどなく、サンライフは全国で3番目に開設された施設となります。

サンライフでは、主にホテルや施設で使用するタオルをクリーンングする作業をしています。

就業者は33名で、主に精神障害のある人が働いています。

三次市からも4名の方が就労されています。

サンライフの利用対象者は
どのような人ですか？

障害者手帳や医師の診断書等及びサービス等利用計画により、市や町からサンライフを利用するための障害福祉サービス受給者証が発行された方が対象となります。

なお、就職にあたっては事前に実習をもらって、作業評価が一定

の水準をクリアしてもらおうことが必要です。

サンライフの特徴について 教えてください。

職場には6名の支援員が配属され、仕事や生活上の様々な相談に乗っています。また、事務所には看護師も常駐し、服薬や体調に関する相談、通院への同行なども行っています。

また、二次駅からサンライフまで送迎車を運行しており、国道54号沿線ではどこでも乗降できるフリーバスとなっています。

一泊二日の旅行や夏祭りなどのレクリエーションもあり、一般就労にはないきめ細かい支援が可能です。そのため、体調不良で途中退職する人はほとんどいません。

サンライフでの給料は どのくらいですか？

福祉就労ではありますが、1か月フルタイムで働かれた場合、月額平均で179,610円(賞与を含む)の給与となります。

サンライフに

就職を希望される方に一言

サンライフは「人を大切にし、安心して働け、互いに成長できる事業所」をモットーとして運営しています。

個別支援計画をもとに個々の希望に沿った支援ができるよう職員が一丸となって取り組んでいます。

興味を持たれた方はいつでもご相談ください。

本田祐美子さんに お話を伺いました。



作業中の本田さん

サンライフに就職した経緯を 教えてください。

以前は自動車部品を製造する会社に勤めていましたが、仕事が合わなかったこともあり、別の仕事を探していた時にナカポツを紹介され、その支援でサンライフに就職することができました。

仕事の内容を教えてください。

クリーニングされたタオルの仕分け作業を行っています。大体1日に1,000枚以上のタオルを処理しています。

サンライフの良いところは どのようなことですか？

困ったときにすぐに相談できることです。これまでも家庭のことや職場の人間関係などの相談を親身になって聞いてもらいました。

サンライフに入って

困ったことがありますか？

就職した当時、同僚の中であいさつをしない人がいました。みんなであいさつをするよう働きかけて少しは改善されたと思います。

これからの夢がありますか？

今は三次市の自宅から通勤していますが、自立した生活を送りたいと思っています。そのため、6月か



作業風景



事業所外観

らは施設内のグループホームや寮での生活訓練を始めて、近いうちに親元から離れた生活をするつもりです。

ありがとうございました。



お知らせ

備北圏域障害者就労・職場定着支援推進会議研修会

4月26日、庄原特別支援学校の学校事務アシスタントとして働いておられる高橋勇希さんをゲストにお招きして「不登校だった僕が就職した話」をテーマにトークセッションを行いました。

高橋さんは中学校から不登校となっていました。が、ひきこもり当事者の経験談を聞いたことがきっかけで就職を決意されて、今はひきこもりから脱却しておられます。

学校に行けなくても支えてくれた家族のことや自分がひきこもりを克服して自信を持てるようになったことなどをお話いただきました。

また、支援者には「選択肢を具体的に提示して

当事者に決断することを促す支援をしてほしい。」との思いを語られました。



在職者交流会

5月9日に備北丘陵公園で交流会を開催しました。

今回は健康と体力づくりをテーマとして、ノルディックウォーキングとグラウンドゴルフを計画していましたが、新型コロナの影響により講師が確保できなかったため、グラウンドゴルフのみのプログラムとなりました。

初挑戦の方が多く、なかなかポストにボールが入りませんでしたが、皆さんの熱意で心地よい汗

をかくことができました。



ナカポツ登録者のお母さんから心温まるお手紙を頂きました。

ありがとうございます。

ナカポツセンター 設営10周年 おめでとうございます。
「つなご」読んでいただきまして。
読んでくださる...胸が暖かくなりました。
職員の方達に 勇気・希望、お返し...色々と事を細やかに下さり
感謝しています。
当事者 だけでなく 家族も勇気が出ます。
いつか 本当に助けたいです。

センター活動実績 (令和3年6月16日現在)

●就職者数 412件 (H22年4月から累計)

●企業実習 269件 (H22年4月から累計)

職種

就職先: 食品製造、製造業、福祉施設、林業
病院、日用品販売量販店、農業、建設業etc

編集後記

昨年の4月は三次市で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、今年の5月には庄原市でクラスターが発生しました。そのため、予定していた行事が中止や延期となっています。

緊急事態宣言も何度か繰り返され、当たり前の日常生活がとても恋しく思われます。早くワクワクチンが回ってこないか、心待ちにしている今日この頃です。